

令和6年度 学校経営計画及び学校評価

<めざす学校像>

- ・女子だけの通信制高校の特色を生かした柔軟な学習環境を提供する。
安心して学べる柔軟な環境を整備。通信制・単位制の特長とICTを活用した学びを充実させます。
- ・向上心を持つ生徒が成長できる場を提供する。
学びに意欲的な生徒が自らの力を伸ばし、自信を持って未来に挑戦できるよう支援。進学率や単位修得率を向上させ、生徒の成長を後押しします。
- ・お互いを尊重し支え合う学びの場を提供する。
教育を通じて思いやりの心を育み、生徒と教職員が協力し合い、安心して学べる環境を目指します。
- ・キャリア形成を支える進路サポート
生徒の将来を見据えた進路指導を強化し、大学進学を含めた多様な進路選択をサポート。生徒が自ら未来を切り拓く力を育む学校を目指します。

<中期的目標>

①一人ひとりに寄り添う学習・生活サポートの強化

- (ア)全生徒および保護者との面談を前・後期に実施。一人ひとりの学習・生活状況を把握し、教職員間で情報を共有します。
- (イ)面談結果を参考にして、生徒一人ひとりに適した学習支援や生活サポートを実現し、安心して学校生活を送ることができる環境を整えていきます。

②学びに意欲的な生徒を増やすための特別プログラムと進学指導の強化

- (ア)学習相談を望む生徒への指導強化
- (イ)学び直しデジタル教材導入による学力向上の支援。

③未来に向けたキャリア形成と進路サポートの強化

- (ア)生徒の進路希望を早期に把握するための「進路希望調査」を確実に実施し、進路希望調査に基づく適切な進路指導を行う。
- (イ)大学進学に向けた「進路説明会」を策定し、体系的・継続的な進路指導を実施。進学希望者向けに個別相談を実施し、進路意識の向上を目指す。
- (ウ)卒業後に生徒が社会で自立できるよう、卒業生や大学との連携を強化し、キャリアガイダンスを拡充。

④教員の働きやすい環境作りで生徒に安心を提供

- (ア)教職員の働きやすさの向上
教職員が属人化された業務から脱し、タスクの見える化と共有化を通じて、仕事量の公平化を促進します。
これにより、教職員全体の働きやすさを向上させ、効率的な職場環境を整えます。
- (イ)職場の風通しとコミュニケーションの強化
管理職との円滑な意思疎通を図り、職場の風通しを良くすることで、教職員同士が互いの仕事を理解し、認め合う環境を作ります。結果、ストレスの少ない職場環境を実現し、教職員の質向上につなげます。

⑤女子だけの通信制高校という特色を生かした広報活動の強化

- (ア)女子だけの通信制高校としての唯一性を強調し、SNS や Web サイトを活用して広報活動を強化。
- (イ)外部合同相談会への積極的な参加と、学校見学＆個別相談会への誘導を強化。

<自己評価アンケートの結果と分析>

【分析概要】

個別サポートに関しては、多くの保護者が面談による支援に満足しており、生徒一人ひとりに応じた適切な対応がなされている点が高く評価されました。一方で、一部には情報共有の不足が指摘されており、今後はより丁寧かつ細やかな対応の実現が求められます。学びに意欲を持つ生徒への支援については、デジタル教材の活用や学習相談が基礎学力の向上に寄与しているとの評価が多く寄せられており、一定の成果が認められますが、学習相談の利用률을さらに向上させる工夫が必要です。進路指導およびキャリアサポートについては、進路希望調査や個別相談が有効に機能し、進路説明会やキャリアガイダンスが進路意識の向上に結び付いていると評価されました。しかしながら、進路選択の幅をさらに拡大することが今後の課題として挙げられます。教職員の働きやすさについては、タスクの見える化や管理職との意思疎通の改善が進み、職場環境の整備が進展していると評価されましたが、仕事量の公平化に関しては引き続き調整が求められます。最後に、広報活動については、SNS や Web サイトの活用が効果的であったと評価される一方で、一部地域での認知度向上には課題が残っており、今後は外部合同相談会や中学校への働きかけをさらに強化する必要があります。

<学校評価委員会からの意見>

1 個別サポートの充実

面談を通じた個別サポートが保護者から高く評価されており、生徒一人ひとりに応じた適切な学習支援が行われている点は大きな成果と認められました。一方で、情報共有に不足があるとの指摘もあり、保護者や教職員間でより丁寧かつ詳細なコミュニケーションを図ることが今後の課題とされました。

2 学びに意欲的な生徒へのサポート

デジタル教材の導入や個別学習相談が基礎学力の向上に寄与している点は高く評価されました。ただし、学習相談の利用률을さらに高めるためには、より積極的なアプローチが必要であり、生徒や保護者への情報提供の方法や学習支援の魅力の伝え方を工夫することが求められます。

3 進路指導とキャリアサポート

進路指導やキャリアガイダンスが生徒・保護者双方から高く評価されていることは大変意義深いものと認められました。今後は大学進学に加え、就職や専門学校への支援をさらに充実させ、多様な進路選択を支援していくことが期待されます。

4 教職員の働きやすさと職場環境

タスクの見える化や管理職とのコミュニケーション改善が進み、教職員の働きやすさが向上している点は評価されました。ただし、仕事量の完全な公平化にはなお課題が残っており、引き続き調整が必要です。さらに、職場の風通しを一層良くすることで、教員がより安心して勤務できる環境づくりが進むと考えられます。

5 広報活動について

女子だけの通信制高校としての特色を打ち出した広報活動が展開され、SNS や Web サイトの活用は効果的であったと評価されました。特に、個別相談会の参加者増加は顕著な成果です。しかしながら、地域社会や一部の中学校における認知度は十分ではなく、今後は地域に根ざした広報戦略のさらなる強化が求められます。

＜本年度の取組内容及び自己評価＞

1 一人ひとりに寄り添う学習・生活サポートの強化

【今年度の重点目標】

生徒および保護者との面談を前・後期に実施し、個別の学習・生活状況を把握して、適切なサポートを提供する。

【具体的な取組計画・内容】

- ・全生徒および保護者との面談を前・後期に実施し、教職員間での情報共有を強化。
- ・支援の必要な生徒の学習計画を提案し、生活サポートも含めたフォロー体制を確立。

【評価指標】

- ・面談実施率 90%以上を達成する。

【自己評価】

面談は予定通りほぼ全生徒と保護者に対して実施し、個別の学習状況や生活サポートに対するフィードバックを集めることができました。教職員間の情報共有体制も確立し、生徒への対応が迅速かつ的確になりました。ただし、情報の共有に関しては一部で不足感が指摘され、今後さらなる改善が必要です。

2 学びに意欲的な生徒を増やすための特別プログラムと進学指導の強化

【今年度の重点目標】

学びへの意欲を向上させる取り組みを強化し、そうした生徒の数を増加させる。

【具体的な取組計画・内容】

- ・学習相談を希望する生徒への個別指導を強化。
- ・学び直しのためのデジタル教材を導入し、学力の底上げを支援。

【評価指標】

- ・学習相談希望者の満足度 80%以上を目指す。
- ・デジタル教材利用者の学力向上率(成績)を前年度比 10%向上させる。

【自己評価】

個別学習相談の実施により、生徒からの満足度は高く、学習意欲が向上したとのフィードバックを得ました。デジタル教材の導入も順調に進み、特に基礎学力の底上げに貢献しています。ただし、学習相談の希望者数がまだ少なく、より積極的な呼びかけが必要です。

3 未来に向けたキャリア形成と進路サポートの強化

【今年度の重点目標】

進路希望調査を確実に実施し、個別進路相談を強化して、進路サポートの質を向上させる。

【具体的な取組計画・内容】

- ・進路希望調査を前・後期に実施し、進路指導を個別化。
- ・大学進学説明会やキャリアガイダンスを実施し、進路意識を高める。

【評価指標】

- ・進路希望調査の実施率 100%を達成する。
- ・進学希望者の進学率を前年比 10%向上させる。
- ・卒業生のキャリアに対する満足度を 80%以上にする。

【自己評価】

進路希望調査は全生徒を対象に確実に実施され、それに基づいた適切な進路指導が行われました。進学説明会やキャリアガイダンスも計画的に実施され、進学希望者の進学率は前年度水準を維持しました。さらに、卒業生や大学との連携も進展が見られましたが、今後はキャリアサポートを一層充実させることが課題となります。

4 教員の働きやすい環境作りで生徒に安心を提供

【今年度の重点目標】

教職員の働きやすさを向上させ、教職員間のコミュニケーションを強化し、効率的な職場環境を整備する。

【具体的な取組計画・内容】

- ・タスクの見える化と共有化を通じて、教職員の仕事量を公平化。
- ・管理職との意思疎通を促進し、職場の風通しを良くするための定期ミーティングを実施。

【評価指標】

- ・教職員アンケートでの「働きやすい環境である」と感じる肯定率 80%以上を目指す。
- ・教職員間のコミュニケーション満足度 80%以上を目指す。

【自己評価】

タスクの見える化や共有化を進めた結果、教職員の仕事量が均等化され、働きやすい環境が整いました。また、管理職とのコミュニケーションも円滑に進み、職場の風通しが改善されたとの意見が多く見られました。しかしながら一部の教職員間では、さらに細かな調整が必要とされる課題も残っていると思われます。

5 女子だけの通信制高校という特色を生かした広報活動の強化

【今年度の重点目標】

女子だけの通信制高校としての唯一性を強調し、広報活動を強化して認知度を向上させる。

【具体的な取組計画・内容】

- ・SNS や Web サイトを活用して、広報活動を強化。
- ・外部合同相談会への参加を増加させ、学校見学＆個別相談への誘導を強化。

【評価指標】

- ・SNS フォロワー数や Web サイトアクセス数を前年比 10%向上させる。
- ・学校見学＆個別相談の参加者数を前年比 10%増加させる。

【自己評価】

広報活動の強化により、SNS のフォロワー数や Web サイトアクセス数は増加傾向にあります。学校見学＆個別相談への参加者も順調に増加し、認知度の向上が見られました。ただし、広報戦略にさらに工夫が必要との意見もあり、今後の改善に取り組んでいく必要があります。

保護者アンケート結果（有効回答数 12 名）

No	質問内容（全 25 問）	4	3	2	1
1	本人は授業を理解していると思われますか（専門科目）？	35.9	48.7	48.7	0.0
2	本人は授業を理解していると思われますか（一般科目）？	25.6	56.4	56.4	0.0
3	先生はわかりやすく授業を行っていると思われますか（専門科目）？	48.7	43.6	43.6	2.6
4	先生はわかりやすく授業を行っていると思われますか（一般科目）？	30.8	59.0	59.0	5.1
5	本人の成績は適正に評価されていると思われますか（専門科目）？	64.1	30.8	30.8	2.6
6	本人の成績は適正に評価されていると思われますか（一般科目）？	61.5	33.3	33.3	5.1
7	本人は校則を守っていると思われますか？	84.6	12.8	12.8	0.0
8	校則・生活指導は厳しいと思われますか？	7.7	30.8	30.8	7.7
9	本人と先生との関係は良好だと思われますか？	46.2	43.6	43.6	5.1
10	本人と友だちとの関係は良好だと思われますか？	43.6	30.8	30.8	5.1
11	先生は本人と十分対話ができていると思われますか？	33.3	38.5	38.5	12.8
12	保護者は本人と十分対話ができていると思われますか？	53.8	35.9	35.9	2.6
13	本人は先生に気軽に相談できるとと思われますか？	30.8	30.8	30.8	10.3
14	保護者は先生に気軽に相談できるとと思われますか？	30.8	46.2	46.2	7.7
15	保護者宛の連絡文書は手元に届いていると思われますか？	61.5	30.8	30.8	2.6
16	進学に関する指導ができていると思われますか？	28.2	41.0	41.0	5.1
17	就職に関する指導ができていると思われますか？	30.8	33.3	33.3	7.7
18	本校が行う健康管理は適切に行われていると思われますか？	51.3	35.9	35.9	5.1
19	文化祭等の学校行事は充実していると思われますか？	20.5	51.3	51.3	5.1
20	クラブ活動は活発に行われていると思いますか？	7.7	46.2	46.2	23.1
21	校内での教職員の対応は丁寧だと思われますか？	53.8	33.3	33.3	5.1
22	設備は充実していると思われますか？	28.2	51.3	51.3	12.8
23	校内の清掃は行き届いていると思われますか？	59.0	35.9	35.9	2.6
24	本人の出身中学校周辺の本校の評判は良いと思われますか？	15.4	61.5	61.5	7.7
25	本人は学校を楽しんでいると思われますか？	38.5	28.2	28.2	10.3

4: そう思う 3: どちらかと言うとそう思う 2: どちらかと言うとそう思わない 1: そう思わない